

県ホームページに関する今後の方向性について

1 意見聴取の概要

(1) 座談会の開催

7月25日(木) 彦根会場：参加者3名

8月4日(日) 草津会場：参加者1名

8月6日(火) 大津会場：参加者5名

合計9名

(2) しがネット受付サービスによる意見募集

7月17日～8月7日 30名の意見登録

約120件

(3) 総務省地域情報化アドバイザーの活用

(一般社団法人 I T C - L a b o. 代表理事 米田 宗義 氏)

- ・全ての座談会に同席し、意見交換のコーディネートと助言を実施。
- ・座談会およびしがネット受付サービスによる意見を評価・検証し、課題を整理。
- ・本県のサーバ環境等を踏まえ、取組の方向性や優先順位の評価を実施。

2 座談会等の主な意見

(1) 再構築に関する意見

- ・仕様書が不明瞭。受託事業者が実施すべき業務の範囲が不明確。ホームページのあり方が設計されていない。利用者のことが考えられていない。
- ・日頃から、もっと専門家の意見を聞いて専門性を高めておくべき。

(2) 情報の探しやすさに関する意見

- ・どんな情報でも時系列で掲載されているために探しにくい。以前は議事録などまとまっており使いやすかった。
- ・分類されたメニュータイトルから内容がイメージしにくい。メニュータイトルから期待される情報が掲載されていない。
- ・利用者を想像した導線を設計すべき。
- ・「組織から探す」がなくなり不便。

(3) 表示の見やすさに関する意見

- ・勝手にスクロールするかと思うと、いちいち開かないと内容が分からない。
- ・行間が狭くてスマホだと操作しにくい。
- ・今後ますますスマホで見る人が増えていくのに、パソコン版からスマホ版に設定を変更しても、文字の大きさが小さいまま。

3 判明した課題と対応策

総務省地域情報化アドバイザーの助言を受け、利用者の目線に立って対応すべき課題を抽出した。

(1) 情報の探しやすさの向上

- 申請書等の様式掲載や計画、制度説明などの、いわゆるストック情報については、時系列で表示されることにより記事が探しにくくなっている。このため、目的や内容に応じて項目を整理するなど、記事の掲載方法を工夫する必要がある。

【例】〈現行(時系列)〉

- 2019年7月11日 滋賀県の産業廃棄物処理業者一覧等
- 2019年7月1日 土壌関係申請書一覧
- 2019年6月28日 自動車リサイクル法に係る引取業者・フロン類回収業者一覧
- 2019年6月19日 自然環境保全課【自然環境保全】関係の申請書
- 2019年6月13日 産業廃棄物処理業者等の許可申請、PCB廃棄物の処理等
- 2019年5月23日 令和元年度産業廃棄物処理実績調査
- 2019年4月24日 温暖化対策課 申請書一覧
- 2019年4月18日 自然環境保全課【狩猟・捕獲許可】関係の申請書
- 2019年4月2日 自然環境保全課【自然公園 特別地域(特別保護地区)】関係の申請書



〈改善後(目的や内容に応じて掲載方法を整理)〉

産業廃棄物処理関係

- 業者一覧等
- 許可申請、PCB廃棄物の処理等
- 産業廃棄物処理実績調査

自然環境保全課関係

- 狩猟・捕獲許可関係申請書
- 自然公園特別地域関係申請書

平成29年度 平成30年度 令和元年度

- ホームページに掲載する情報の掲載期間がまちまちであり、ストック情報のうち特に統計資料や過去の記録資料等については、元となる文書の保存期間等を意識して掲載期間の設定を見直す必要がある。

(2) 文字やメニュー等の見やすさの向上

- スマートフォンやタブレット端末での利用が半数を超えており、これからも増加する見込みであることから、スマートフォンでの閲覧・操作を前提に、単に閲覧できるというだけでなく、より見やすくなるようページデザインを変更する必要がある。

4 今後の方向性

(1) 年度内の対応

- ストック情報など時系列の記事掲載に適さない項目について、目的や内容に応じた掲載順序とするなど、時系列以外での表示方法を検討する。また、タイトルの付け方や記事の掲載場所、掲載期間の設定などが統一されるように、掲載に関する府内ルールを策定する。(3月末まで)

(2) 来年度の対応

- ストック情報等について、策定した府内ルールに基づいて掲載方法を修正し、時系列以外での表示方法とする。
- スマートフォンでの閲覧・操作の利便性を一層高めるため、ページデザイン(文字の大きさや行間の設定、メニューの配置など)をより見やすく、使いやすいものとする。

ホームページ改修業務

県公式ホームページについては、再構築後にリンク切れ等の不具合等が発生したことから、6月末まで緊急対策として、急ぎ対応が必要な点について、改善に取り組んだ。より見やすいページにするため、7月～8月にかけて座談会等により意見募集を行い、今後の方針について専門家の助言を受けて整理したところ、スマートフォン等への対応強化やストック情報等の表示順の工夫などが必要であることがわかった。

H30 再構築

- ・サイト構造の整理
- ・スマートフォンの基本対応
- ・アクセシビリティの強化

(予算 10,000 千円) H31.3

：業者が行う業務
：庁内で行う作業

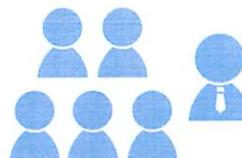


- ・トップページデザインの変更
組織から探す・よく検索されるページの追加等
- ・第3階層のカテゴリを細かく設定し情報を整理
ex) 納税・証明書、自動車税、不動産取得税
- ・グーグル等で検索されやすくする対策
旧ページの削除申請・新サイトマップの送信

R1 緊急対応

- ・操作しやすくするための改善
ex) 開く・閉じるメニューを開いたままにする
トップページ・第一階層のデザインを全階層に適用など
- ・ストック情報として表示する情報の整理
時系列で表示すべき情報とそれ以外で表示すべき情報の整理 ex) 統計情報、県民情報室資料など
- ・庁内ルールの策定
タイトルの付け方、PDF掲載方法
記事の掲載場所、掲載期間の整理など

座談会・しがネットの意見を専門家と協議



<主な意見>

- ・用途メニューは開いたままの方が良い。デザインをより見やすく設定すべき。
- ・文字のフォントが小さい、スマホに適正な表示を意識すべき。
- ・全て時系列表示なのは探しにくい。情報の分類で整理し、優先度や重要度に応じて情報提供にメリハリを。
- ・再構築する際は、専門人材やチームが必要。普段からIT業者とコンタクトをとって情報をとっておくべき。

R1.6

R2 改修

GOAL →

- ・スマホ対応を強化したデザイン設定
スマホ等で閲覧した際に、より適正な表示がなされるよう文字の大きさや行間、表示順、導線などについて改善を行う。

- ・ストック情報を表示するためのデザイン設計
ストック情報の表示に適したページデザインの設計を行う。

7

8

反映

R2.3

R3.3